

経営者・管理者向け

施設で取り組む高齢者虐待防止対策

－虐待の5つの要因を改善する活動－

現場で培ったノウハウをお伝えする安全な介護が、動画セミナーを配信中！
会場に行かず施設内で何度も研修ができる

今すぐ抜粋版（10分）を視聴しよう！【本編は43分】

●PC版 → <https://youtu.be/KL-lz8YUpgw> ●スマホ版 →

※抜粋版はYouTubeで公開していますが、動画本編は専用サーバーで提供します



動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護事業者団体・介護事業法人など
- 視聴期間：1～3ヶ月間
- 提供資料：セミナーテキスト・付属資料
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業者団体50,000円＋消費税
介護事業法人40,000円＋消費税

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

動画セミナー「施設で取り組む虐待防止対策」の概要

セミナーの内容

1. 施設職員による虐待事件増加の背景
2. 職員教育の問題点
3. 虐待事件の原因分析
4. 職場で取り組む虐待防止の具体策
《1》理性を失って虐待してしまうケース
《2》職場のモラル低下により複数で虐待するケース
《3》著しく適性を欠く職員が虐待するケース
《4》家族のハラスメントへの反抗から虐待するケース
《5》おもしろ半分のイタズラで虐待するケース



現場実践講師

セミナーテキスト（手持ち資料）の一部

4. 職場で取り組む虐待防止の具体策
《1》理性を失って虐待してしまうケース
●感情のコントロールができなくなる原因は何か？

利用者の要因	職員の要因	施設出展の要因
認知症 BPSD	認知力の低下 感情の不安定 パニック発作	職員不足 業務の増大 パニック発作

1. 利用者の体質（BPSD発症のための性格傾向など）
2. 利用者の生活環境（BPSDを引き起こす環境など）
3. 職員側の体質（認知力や感情の不安定など）
4. 介護職員の対応力（認知ケアの知識や技術の不足）
5. 介護職員の資力（教育や研修、職歴など）
6. 介護職員の私生活（家庭事情や身体的負担など）
7. 職員間の連携（チームワーク）
8. 業務負担（業務の増大や業務の多岐化など）
9. 業務手順（業務の増大や業務の多岐化など）
10. パニック発作（土曜でも発生しうる）

●適性を欠く職員の不適切言動への法人対応をルール化

不適切な言動への即前報告	①職員への指導や懲戒、また施設について管理に報告の上、指導や懲戒を要する場合は報告
職員判断による委員会報告	②職員が判断が本音として報告の場があった場合、報告に必要資料の準備（録音機、録音テープ、録音機からの録音）を要する
コンプライアンス委員会対談	③報告の場から、必要資料の提供が得られなかった場合は、報告を要するに付随して報告を、コンプライアンス委員会もしくは（BPSD）に報告する
委員会による報告	④報告内容も、必要資料も、報告は報告の場から、報告の場から報告を受ける
配置転換など役員決定	⑤報告内容も、必要資料も、報告は報告の場から、報告の場から報告を受ける

●職員側の不適切言動には、懲戒処分の可能性もあるが、その場限りでは、非懲戒処分の可能性もある。懲戒処分の可能性がある場合は、懲戒処分の可能性を考慮して対応する。

動画セミナーだけの特典！

高齢者虐待防止対策資料

「チョットと落ち着く言葉かけ」をプレゼント！



※10冊まで無料それ以上は有償となります

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275